

青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版42号



平成 24 年 8 月 16 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール info@aoyamayamato.net

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在33歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会文教警察委員会委員、東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会委員、土浦消防団第27分団員(土浦市操法大会へ3度出場)。

●9月12日、代表質問(予定)

暑い日が続いております。青山は現在、9月議会本会議の代表質問準備の日々です。代表質問は、本会議で行う各会派の代表による県政に対する質問で、議員個人による一般質問と区分されるものです。従って、今回は地元関連の質問ではなく、県全般を見た質問が中心になることをご容赦ください。

今のところ質問項目として、①海外戦略を含めた広い視野からの茨城県の将来の産業施策②東日本大震災、つくば竜巻被害からの復興を絡めた次年度予算編成の考え方③県外からの震災がれきの受入れ状況及び今後の進め方④風評被害対策(農水産業、企業立地)⑤霞ヶ浦の浄化対策(森林湖沼環境税と絡めて)⑥県南地域活性化のための取り組み(霞ヶ浦資源を活かした観光、郷土の歴史を活用、朝日トンネル開通、筑波山、TXつくば土浦延伸の再議論、常磐線とTX東京駅乗り入れ)などを取り上げようと考えております。

質問を作成するため、たくさんの方々からご意見、お話を聞いておりますが、質問の多かった2件についてご説明させていただきます。

①圏央道はいつ頃になりそうか。

圏央道は国土交通省及び東日本高速道路(株)の施行ですが、常磐道から見て東側区間(稲敷IC～東関道間)約21kmは、平成25年度以降開通予定とのことです。現在、茨城県内部分は用地取得済、千葉県側では、土地収用法に基づく事業認定がなされ、収用裁決申請の準備中で、橋梁上部工事などを実施中です。

常磐道から見て西側区間のつくば中央IC～五霞IC間、約35kmは平成26年度以降、五霞IC～東北道間、約13kmは平成25年度以降開通予定とのことです。裏面に全体の地図を載せていますので、そちらもご覧ください。

②茨城の情報発信戦略について。

茨城の広報戦略は如何なものかというご意見もよく受けます。青山もこれまで、本会議や特別委員会等で提案や改善策を議論してきました。確かに、農業産出額や製造品出荷額が全国上位、「全国住みよさランキング」では100以内に9市がランクイン(守谷、つくば、鹿嶋、土浦、那珂、神栖、牛久、水戸、かすみがうら)しているにも関わらず、民間の地域ブランド調査では全国最下位という結果は改善の余地ありです。

今年10月から新たに、県民参加型の情報発信のためいばらきインターネットテレビ事業、情報番組とのタイアップによるPRの強化、いばらきアンテナショップを銀座に新しく展開、SNSの積極活用など、これまでとは異なる展開も始めておりますので、チェックしてください。

●編集後記

さて、茨城県議会史上最年少での代表質問をすることになりました。質問の様子を皆様にご覧いただきたく、本来ならば例年通り、県議会傍聴バスツアーを企画すべきところですが、今回は諸事情により開催を見合わせていただきました。誠に申し訳ございませんが、ご都合のつく方は、直接議会へ足をお運び頂ければ幸いです。なお、インターネットでも生中継でご覧いただくことができます。9月12日(水)15時～となります。もしお越し頂ける方は9月3日(月)までに青山事務所にご連絡下さいませようお願い致します。